

# 千住金属工業

## 中国市場 各地区別の営業戦略推進

### 現地工場(広東省)を供給拠点に

千住金属工業は、中国の華東、華北、華南地区に拠点を設けて、それぞれの市場に合わせた営業戦略を推進している。また、広東省惠州市には生産拠点も構え、各種はんた製品、フラックスなどを迅速に供給している。

同社は、中国を華東地区(地区をエリアとする千住金属担当の千住金属(上海)、属(香港)の3拠点でカバー)、華北地区を担当する北京千住電子材料(北京)、華南千住金属(上海)が担当



千住金属工業は、中国でそれぞれの市場特性に合わせた戦略に取り組んでいる

する華東地区は、早くから台湾系OEM企業の進出が図られた地域であり、ノートPCをはじめとするモバイル機器の一大生産エリアとなつている。モバイル機器の進化は速く、その進化する実装品質要求に応える新製品、サポート体制を求められる。モバイル業界ではいち早くハロゲンフリー化に取り組んでいる。

千住金属(上海)の長谷川友秀総経理は「ハロゲンフリー化に対応したことにより、上海は千住金属全社の中で最も多くハロゲンフリーのクリムはんだを製造、販売している拠点になった。現在、低銀製品を高確度で安定した実装品質で確保でき、より安くモノづくりを実現できる材料とし

てお客さまに提案、提供している」と話す。

華南・香港地区を担当する千住金属(香港)のエリアには、モバイル機器や家電、車載関連、音響機器を中心とした各種電源、デバイス部品や、電池、モーター、LED照明などの多種多様な業種がひしめいている。

二階堂高之総経理は「華南地区の市場は大きく、世界の生産工場として来料加工貿易で発展してきた。近年では中国政府の政策転換により、来料加工形態の更

新廃止策によって、中国国内の需要が全産業で激増してきた背景から、世界の市場へと大きな変化を遂げている」と指摘する。  
エリア内の製造拠点である惠州工場は、各種はんた製品、フラックスなどの市場多様化に対応できる一大総合工場に位置付ける。こ

れまで日本から輸入してきた原料や、中間材料の現地調達化、ならびに現地生産比率を大幅に引き上げ、特に棒、フラックスに加え、やに入り線はんだ、ソルダペースト(パウダー)を現地生産し、中国内の市場価格帯で勝負できる生産体制を整えた。

同総経理は「高品質・高付加価値商品群の低銀系、銀レス系商品の投入を主軸として、安く、速く、安定供給できる体制を整えた。より高品質でより安く、より迅速に、をモットーに拡販している。当社だからこそできる接合技術ノウハウや、万全なサービス体制も付加して安く、かつ速く提供できる高品質・高付加価値商品のトータルコスト低減に関するソリューションを全面的に提案、提供していく」と述べる。

華北地区を担当する北京千住電子材料(北京)のエリアは、車載関連のメーカーが多い。鈴木芳仁総経理は「ほかの地域と比べて鉛入りのはんだの供給も多い。欧州の金融危機への不安による需要の低下から、昨年実績に比べて今年全体の受注量は減少傾向にあ

るが、車載系ユーザーへの供給はさほど減少していない。今後は華北エリアに工場を持つ海外ヘッドクォーターとの連携も、当社グループとの連携も、当社がグローバルネットワークによりタイムリーに有用な情報を共有し、皆さまの安心と信頼、期待を提供したい」と取り組んでいる。

## 製造装置・材料・計測